

みなさまいかがお過ごしでしょうか。
 今年の夏も、またより一層暑さが厳しく
 お身体にこたえた方も多いことと思いま
 す。お彼岸を迎えると一転涼しくなり、気
 温の変化の激しさにこれまた身体の調節
 がついていきません。

お彼岸に山口在住のご門徒さんがお墓
 参りに来られました。お話しされるのに、
 「お寺にお参りに来るのに四週間かかり
 ました」とおっしゃいました。最初の日曜
 日は高速道路で事故が起こって封鎖され
 てしまった。次とその次の日曜日は自分の
 車が動かなくなつて修理していて動けな
 かった。その次はちようど台風が来てしま
 った。予定より四週間遅れてやっとお参り
 でき、夏に来る予定が秋になってしまいま
 した、と笑っておられました。普段何も起
 こらないときであれば、片道二時間もあれ
 ば車で十分行き来できる距離です。行こう
 行こうと思いつながら、いろいろなことが起
 こつてなかなかお参りできなかつた分、思
 いもひとしおの様子で、喜んでお参りに
 なりました。

日頃は気づかないけれども、何も起こら
 ないことがありがたいことなのだと気づ
 かせていただくご縁でした。

行事予定



十月十八日

まこと会 急仏奉仕

午後一時半より三時まで

* 申込不要・ごなただでも「参加」いただけます

十月二十日

ヨガの会

十月二十四日

光圓寺 報恩講

二十五日

秋季永代経法要

講師 桑門真昭師

十一月 八日

まこと会 親睦旅行

一年ぶりのまこと会親睦旅行です

みなさまお誘い合わせの上

「参加」下さいませ

光圓寺 報恩講・秋季永代経法要

十月二十四日(火) あさ 午前九時半より

ひる 午後一時半より

報恩講

(十二時よりお齋)

十月二十五日(水) 午後一時半より

秋季永代経法要

講師 桑門真昭師

中区大手町 常念寺

真宗大谷派擬講

三年ぶりにご登壇いただきます。

豊かな知識と教養を基に真宗のみならず
 仏教全般にわたる味わい深いお話しが楽し
 みです。

二十四日十二時よりお齋の接待がありま
 す。全てイス席でご接待させていただきます。
 どうぞお気兼ねなしに席にお着きくださ
 い。

今年は打越地区の方々を中心となつて
 お接待させていただきます。
 よろしくお願いいたします。

坊守こぼれ話 ― 地獄絵

先日、テレビの美術探訪番組で地獄絵を特集していました。

浄土真宗では、阿弥陀如来さまが余さず掬い取って浄土へ生まれさせて下さるとお聞かせいただいているので、地獄絵はあまり見る機会がなく、珍しくて興味深く拝見しました。地獄が八層に分かれていたり、生前の行いでその行き先が決まる裁判があったり、そしてその裁判と法事などの仏事が繋がっているところなど、あまりの詳しくさに感心しました。ほとんどの人間はみんな一旦地獄に落ちそうです。

三年前の報恩講の「法話で、桑門講師は「地獄・極楽は凡夫の持ち物」とお話になりました。仏教の祖であるお釈迦様の「説法には、地獄はどこにも出てきません。お釈迦様は浄土の素晴らしさを説き、そこへ生まれるための生き方を説かれました。インドで生まれたその教えが、中国に渡り、日本へ伝わってからここまでの長い時間の中で、それぞれの土地の宗教や時代の信仰の影響を受け、地獄の発想が付随しました。隣の誰かよりも真面目に生きている自分の方がより良くなりたいと思うのが凡夫です。その心から地獄が生み出されました。

地獄絵を、凡夫である私の心の歪みが表現されたものだとするならば、「これほごまでか……」と思わずにはいられません。

※【地獄絵ワンダーランド】 放映されていた地獄展は、京都西本願寺

正面の龍谷ミュージアムにて十一月十二日まで開催中！

光圓寺 報恩講参りのお知らせ

例年通りに、各ご家庭への報恩講参りを左記の日程で参ります。今後変更の可能性もございますので、

各ご家庭へのお知らせにて、再度ご確認ください。

よろしく申し上げます。

十一月 六日 楠那・日宇那地区

十一月 十七日 皆実町地区

十一月 二十一・二十二日 己斐地区

十一月 二十四日 宇品地区

十一月 二十七日 南観音中・西地区

十一月 二十八日 南観音東地区

十二月 八・九・十日 丹那地区

十二月 十一日 本浦地区

十二月 十五・十六日 大河地区

十二月 十八・十九日 打越地区

十二月 二十日 吉島地区

新しくお参りをご希望の方はお寺までお問い合わせください。

他の地区でもお参り致します。 ☎(082)231-3400